

平成 31 年 2 月 20 日

平成 30 年度 大阪府立三島高等学校 第 3 回 学校運営協議会 議事録

1 実施日 平成 31 年 2 月 19 日(金) 14:30～16:30

2 出席者

(1) 協議会委員

関西大学教授（協議会委員長）
三島高等学校 PTA 会長
川西地区青少年健全育成協議会長
高槻市立第二中学校長
高槻市立郡家小学校長

※三島高等学校同窓会会長は欠席

(2) 学校職員

校長、教頭
首席・教務部長、首席・生徒指導部長、
進路指導部長、第 3 学年主任、事務長

3 議題

- (1) 平成 31 年度の学校経営計画について
- (2) 平成 30 年度の学校教育自己診断について
- (3) 意見書について

4 委員からの指摘提言

(1) 平成 31 年度の学校経営計画について

- ・ 数値目標は昨年度を踏まえてのものか、また数値目標に対して具体的な施策はあるのか。具体的数値目標は 3～5 年先になると苦しくなってくるので、無理のない目標を掲げてもらいたい。
- ・ 教員の指導力の差を補うような仕組みを考えてもらいたい。
- ・ 自主自律の精神を忘れず、生徒を信頼してもらいたい。

(2) 学校教育委自己診断について

- ・ 生徒の学校が楽しい、友人がいることに対して肯定的であることが高率なのは良い。

- ・担任の先生を含め、気軽に相談できる先生が増えるとよい。
- ・ホームページの活用を増やすために、生徒や保護者を作成側に入れることや最新の情報を掲載する等の工夫をしてもらいたい。
- ・ICT 機器の活用については、新しい機器の活用だけでなく旧来のやり方も大切にもらいたい。
- ・キャリア教育の充実は、大学選択のためにも重要である。
- ・データに基づいた進路指導は大切。あわせて、生徒個々の個性も踏まえた指導をしてもらいたい。
- ・保護者の施設・設備に対して評価が低かったのは、地震・台風の災害後であったためと思われる。

(3) 自転車マナーへの意見書について

- ・学校付近の点滅信号で一時停止をしていない生徒が多い。マナー向上のために大人が規範を示すとともに家庭での指導が重要。学校には、安全教育の徹底を望む。
- ・学校・家庭・地域が連携し、継続的に見守っていくことが、互いを知り合うことになり注意のしやすさ、受け入れやすさに繋がる。